

| プロトコール名 | | 1クールの日数 | 放射線治療 |
|---------------------|--|---------|---------|
| 肺癌(非小細胞)デュルバルマブ単剤療法 | | 14日 | ■なし □あり |
| 投与日 | 薬品名(※赤字は抗がん薬) | | |
| day1 | ① 生理食塩水 50mL(プライミング用) ② 生理食塩水 250mL+イミフィンジ10mg/kg 0.2又は0.22 μ mインラインフィルター使用。 調製後4時間以内に投与開始。 最終濃度は1~15mg/mLとすること。 ③ 生理食塩水 50mL(フラッシュ用) | | |
| コメント | 投与期間は12か月間まで | | |

| プロトコールに関する解説 |
|---|
| <p>根治的な放射線化学療法の後、地固め療法としてデュルバルマブを1年間投与することでさらに治療効果が改善します。ただし、デュルバルマブ投与群では放射線による肺炎の割合が増えるため定期的な検査と必要に応じた休薬が必要です。また腫瘍にPD-L1という蛋白質が発現していない方への効果は明らかでなく投与の必要性について慎重な判断が必要とされています。</p> |